

久留米大学病院 広報誌

# ちっごり川

2026.3

第48号



TAKE FREE

ご自由に  
お取りください



“活動を育む”医療

「リハビリテーション」

志は時を越えて。



100th Anniversary

久留米大学は2028年に  
創立100周年を迎えます。



# 「活動を育む」医療 「リハビリテーション」

リハビリテーションと聞くと、何をイメージするでしょうか。怪我や病気で動きにくくなった身体を、回復させることでしょうか。リハビリテーションとは、身体機能の回復だけでなく、自立した日常生活を取り戻し、社会参加ができるよう、包括的に訓練・支援することです。今回の特集では、リハビリテーション部の取り組みをご紹介します。

## 目的は社会復帰

リハビリテーション（以下、リハビリ）と一口に言っても、多くの手段があります。怪我を治して現場に復帰する、メンタル不調を整えて職場に復帰する、病気を治療して日常生活に戻る。

それぞれに応じた方法で、心と体を整えます。リハビリの内容は多種多様ですが、その目的は「活動を育む」ということです。

私たちは一人では生きていきません。社会に参加し、活動をすることで生活を営み、生活の質を向上させます。仕事に行く、あるいは学校へ通う、買い物へ行く、そして、生きるために取るコミュニケーションを可能にする、このような社会的な参加活動を育むのがリハビリの務めです。自立した生活を取り戻すだけでなく、社会参加までを支援する取り組みなのです。



病院本館西棟3階 リハビリテーション室

## 急性期のリハビリを担う大学病院

リハビリには3つのステージがあります。急性期、回復期、維持期の3つです。

急性期とは、怪我や病気によって、身体が動かなくなった直後の時期を指します。原因となる怪我や病気に対する専門的な治療を行っている時期にあたりますが、リハビリも行います。早期にリハビリを開始することで、その後の回復に大きな影響があるからです。

当院では、急性期のリハビリがメインとなるのですが、この時期はまだ怪我や病気の後遺障害が定まらない時期であるため、予防に主眼を置いた内容になります。つまり、早期機能回復と、合併症や後遺症の予防です。脳卒中のような症例で麻痺が起きてしまった患者さんに対しては、それ以上悪くならないようリハビリで支援します。



多くの患者さんは術後であり、ベッドの上で過ごす時間が長い状態です。退院後の生活を

見据えて、まずは離床のリハビリから行います。ベッドから自分の力で起き上がれるよう訓練し、トイレに行き、食事をする。歯磨きをしたり、着替えをしたりといった、いわゆる基本的な日常生活が自分でできるようになるためのリハビリです。

## ステージに合わせたリハビリ

急性期の次の段階が回復期です。急性期の治療が終わり、徐々に元の生活に戻していく時期です。この時期には、患者さんのかかりつけの病院やリハビリテーション病院、老人保健施設などで入院生活を送りながら訓練を行います。急性期のリハビリの中で、後遺障害についてある程度の見立てができません。後遺障害の程度に合わせて、また、患者さんの心と体に寄り添ったリハビリを行えるよう、回復期を支える病院と連携を図ります。

維持期は、かかりつけ医等に通院しながらリハビリをする時期です。回復した機能をその後も維持するためです。病気の症状や怪我による障害の状態が安定し、自立した生活を継続できるようにすることが目的です。当院では、急性期等の入院患者も含めて、毎日300人以上にリハビリ治療を提供しています。

お話を伺った先生



リハビリテーション部 部長  
松瀬 博夫 先生



リハビリテーション室の様子

# 多職種で取り組むそのすべてがリハビリ

院内の診療科を横断的に見て、リハビリが必要な患者さんがいれば療法士たちを配属して訓練を提供します。リハビリには主に、理学療法、作業療法、言語聴覚療法という分野があり、それぞれが専門的に訓練を行い、機能回復の手助けをします。

理学療法は、運動機能回復支援です。怪我や病気などで運動機能が低下した機能に対して、回復や維持、悪化の予防を目的として行います。

作業療法は、生活行為、社会復帰の支援がメインとなります。食事や着替え、トイレなどの生活に必要な活動や仕事への復帰などの社会活動参加のために、幅広く支援を展開します。後



リハビリテーション担当医師

く支援を展開します。後遺障害によっては、環境調整が必要なこともあり、そういった場合には、道具の作成や福祉用具の選定などをを行い、家庭復帰、社会復帰の実現を支援します。言語聴覚療法は、コミュニケーション機能、摂食・嚥下機能の回復支援を行います。話す、聞く、読む、書くなどの言葉によるコミュニケーション機能や、噛む、飲み込むなどの摂

食・嚥下機能が低下した患者さんに対して、症状に応じて、舌や唇の運動、代償手段となるコミュニケーション方法の構築をします。

リハビリとは、単純に機能を回復させることだけを指すものではありません。薬の飲み方の支援、食事に関する指導、回復や予防のための治療、それらすべてがリハビリなのです。そのため、関わる医師や薬剤師、栄養士や療法士といった多職種で連携して行います。患者さんそれぞれの状況や状態、そして目標に合わせて、それぞれの持つ情報を交換し、共有しながら、柔軟に対応します。

## お話を伺った先生



リハビリテーション部  
広田 桂介 技師長



## 高度救命救急センター リハビリテーションチーム



脳卒中や心筋梗塞、交通事故で外傷を負った方など、救急車やドクターヘリで当院に運ばれた患者さんを対象にリハビリを行います。緊急手術を終え、ベッドに移動してから、早ければ24時間以内にリハビリを開始します。ベッド上で手足を動かさず、起き上がった座るといった、離床のためのリハビリに取り組んでもらいます。

受傷直後だからといって安静にしているだけでは、多くの弊害があります。肺の状態が悪くなるなどの呼吸器合併症を防ぐためにも、術後すぐのリハビリが必要不可欠です。

発病あるいは受傷したばかりの状態では訓練を始めるので、患者さん自身にリハビリを受け入れてもらうため、また、安心して取り組んでもらうために、医療チームでしっかり情報共有し、患者さんに対して説明を行います。リハビリの必要性と重要性を説明し、患者さんの心に寄り添って、身体の状態に合わせて、一緒に取り組みます。

## 心臓リハビリテーションチーム

心不全、虚血性心臓病、下肢動脈疾患、心臓血管術後の患者さんへのリハビリを実施します。入院早期から開始し、退院後も必要に応じて外来へ移行し、運動療法や、生活指導を継続することで、患者さんの安全な社会復帰と健康維持をサポートします。

当リハビリ部では理学療法士のほかに、医師と専門の看護師を配属しております。また、栄養指導を行うための管理栄養士や、薬剤師や、医療ソーシャルワーカーも支援メンバーに含まれています。万が一のケースに備えるため

にも、定期的に緊急対応訓練を行い、万全の体制で患者さんのリハビリを実施します。

外来では、2カ月程度の外来プログラムを提供しており、心臓疾患の患者さんが自宅で安全に運動を継続できる方法をお伝えし、訓練を通して自信をつけてもらえるよう支援します。段階を踏んで運動強度を上げたり、あるいは代替運動を提案したりすることで、継続するための自信を育みます。



## SICU（外科系集中治療室） リハビリテーションチーム

リハビリの対象者は、ほとんどが予定手術を受けた患者さんです。術後早期から開始するため、身体を起こさず、座る、歩くといった動作を段階的に進めていきます。一般病棟に戻るまでの期間に、患者さんの状態に合わせてリハビリの目標を設定し、訓練を組み立てるのですが、痛みなどの症状をコントロールしつつ無理のない範囲で実施します。医師や看護師との情報共有を密に行い、患者さん自身の言葉だけでなく、声を出せない患者さんの表情や身体の観察によって状態を判断することが重要です。また、多職種がそれぞれの専門的な視点から、患者さんの状態をより詳細に観察することで、どのように今後の治療とリハビリを進めていくかを決定します。

予定手術の患者さんに対しては、術後すぐにリハビリが開始されることを伝えており、術後に合併症を起こしやすい患者さんには、術前からリハビリを行って、速やかに患者さんが回復できるような体制を整えています。



## 脳神経外科リハビリテーションチーム

私たちのチームは、脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、脊椎・脊髄疾患などの患者さんを担当しています。患者さんの半数以上は脳腫瘍の術後であり、放射線治療や化学療法を受けている方もいるため、状態に応じたリハビリメニューを作成して実施しています。

また、脳の障害場所により、麻痺や高次脳機能、言語機能、摂食機能などに障害が出るため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が協力して対応します。

リハビリでは、身体麻痺の患者さんに対する歩行などの身体機能面の練習や、高次脳機能障害の患者さんに対する脳機能回復などの訓練、言葉が出にくい、飲み込みにくいという症状のある患者さんには発語や飲み込みの練習を行います。必要に応じて、トイレ動作などの日常生活指導や、ベッド周辺の環境調整も行っています。

脳の後遺症を負った患者さんの中には、ご自身の状況を理解するまでに時間がかかる場合もあるため、傾聴し、多職種で情報共有し、ご本人にとって最適なリハビリが行えるよう最善を尽くします。



## 整形外科リハビリテーションチーム



ここでのリハビリは、  
頸椎・腰椎疾患、外傷疾  
患、腫瘍の患者さんを  
対象としています。

患者さん自身が持つ  
「自宅に戻りたい」「歩け  
るようにになりたい」と  
いった目標に向けて、リ  
ハビリを行います。比  
較的高齢の患者さんが  
多く、退院後のサポー  
ト体制の構築も含めて  
支援をします。回復期  
リハビリテーション病  
院への転院が多いため、  
他院との連携は欠かせ  
ません。また、同居家族

との連携はもちろんですが、一人暮らしの患者さんに対しては、介護保険サービス等の社会資源や町のケースワーカーと連携し、情報を共有してサポート体制を整えます。

患者さん一人ひとりの状態、目標、生活背景に合わせて個別化し、積極的なリハビリテーションを実施しております。

## がんリハビリテーションチーム



当院はがん診療拠点病院であり、平成22年にはがんのリハビリテーションの施設認可を取得しました。オリジナルのプログラムを作成し、安全で積極的な運動療法を実施しています。

がん患者を対象としたリハビリは4つの段階に分けて専門的に行います。予防、回復、維持、緩和の4段階で、症状が出る前の予防的リハビリから終末期における生活の質の向上(QOL)まで幅広くサポートしますが、どの段階においても、患者さんの状態や治療に合わせて柔軟に対応します。身体機能の回復だけでなく、患者さんの気持ちや生活全般に寄り添い、希望する生活が送れることを重視しています。そのため、患者さんだけでなく家族へのアプローチも含めてリハビリを行います。

終末期におけるリハビリの継続は、患者さんの意思が最優先です。本人・家族が希望しない場合は主治医と相談しリハビリを中止するという選択肢もあります。本人が望む生活の実現を軸に、支援を行います。

## 院内緑化推進プロジェクトについて

当院は「人と地球にやさしい医療」を理念に掲げ、環境への配慮を積極的に進めています。

その一環として導入した「エコロジーガーデン」は、観葉植物と特殊土壌を活用し、空気の浄化やヒートアイランド現象の緩和に貢献しています。さらに、患者さんに安心感を提供し、心理的なケアにも役立っています。

このプロジェクトは、地域企業の皆様のご協力を得た「グリーンオフィシャルスポンサー」の支援により実現しており、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

当院ではご協力いただける企業様を引き続き募集しております。お問い合わせの際は、(株)久大エンタープライズまでお願いいたします。

【お問い合わせ先】(株)久大エンタープライズ ☎0942-65-3743



### 協賛企業様(順不同、敬称略)

- 西鉄旅行株式会社
- 九州ビルサービス株式会社
- 久留米西鉄タクシー株式会社
- 株式会社ケーユー
- 一般財団法人久留米大学愛護会
- 日本生命保険相互会社
- コニカミノルタジャパン株式会社
- 住友生命保険相互会社
- 舞鶴警備保障株式会社
- キングラン九州株式会社
- 株式会社中野青果
- ダイダン株式会社
- 株式会社ファミリーマート
- さくら薬局 久留米大学病院前店

## TOPICS

### LGBTQ+フレンドリーな病院

久留米大学LGBTQ+\*支援ワーキンググループは、誰もが受診しやすい病院を目指して活動しています。LGBTQ+の方にも迷うことなくトイレを利用しただけできるよう、多目的トイレの表示を「だれでもトイレ」に変更し、あわせてAll gender toiletと明記しました。また、LGBTQ+への理解と支援の姿勢を示すALLY(アライ)が職員の中に広がるよう、研修活動も開始しています。これからも、誰もが安心して受診できる環境づくりを進めていきたいと思ひます。

※LGBTQ+とは、多様な性の在り方や性的指向を表す言葉の総称です。

だれでも  
トイレ  
All gender toilet

久留米大学病院  
ホームページ

[LGBTQ+フレンドリーな病院]



## 癒し♡ 職員のウチの子自慢

今号は、薬剤部のウチの子自慢です!

### 【K・T家】

(奥から)ピーイチさん、ピユキさん、ピースケさん

ピーイチは世帯主、ピユキは奥さん、ピースケは二人の子供です。先代のキちゃん(ルチノウ:令和2年逝去)は、お庭で静かに見守ってくれています。



### 【S・M家】

シルバさん(オス5歳)



ツンデレだけど、餌を食べるときだけは「見守って♡」と言わんばかり毎回ついてこさせるところ、家族みんな大好きです!!

### 【S・T家】

上:サスケさん(9歳)  
下:ミルクさん(3歳)  
2匹ともミニチュアシュナウザー



サスケさんはおっとり系で優しく、私が落ち込んでる時は隣に来て、そっと寄り添ってくれます。ミルクさんは「あざとさ100%」の女の子。怒られても写真のような目で見てくるので、すぐに許してしまいます。人間だと、かなりモテる女子だと思われます。(笑)

戦闘能力はエンツォ君:レオ君=100:1ですが、手のかかり方は1:100です。ふたりが遭遇しないよう、厳重に管理をしています。笑ふたりとも触り心地が最高で、とっても可愛いです♡



### 【R・M家】

上:迫力満点で臆病なエンツォ君(セントラルバイソン)  
下:甘えん坊な我が家の王様レオ君(メインクーン)



祝日等開院のお知らせ 下記の祝日等は通常診療します。

令和8年7月20日(月)、10月12日(月)、11月23日(月)、令和9年1月11日(月)